

医療法人 八誠会

もりそう教育だより

令和5年12月発行（No.12）

発行／もりやま総合心療病院

看護部

TEL052-791-2133



平常の看護を取り戻す

今年度の看護部目標は、病床再編後の治療環境を整えて地域移行支援を行うこと、脱コロナ禍で平常の看護を取り戻すことの2本柱を掲げています。研修では、昨年行った看護研修委員会の新人やナースエイド向けの研修に加え、看護実習委員会の実習指導養成コースも、看護安全委員会による医療安全研修も対面で行いました。看護記録や看護基準の委員会も電子カルテ導入後のマニュアル整備を着実に進めてくださっています。Covid19対策チームも感染が発生した時に中心となって活動してくださっています。コロナの爪痕、病床再編の影響は、決して小さなものではなく、現場は日々格闘していると思います。でも、秋の監査を終えて、まじめにコツコツやってきたことも感じました。変化を余儀なくされる時代ですが、自分たちのあり方を振り返りながら、前に進んでいきたいと思っています。

福祉協議会の研修開催

地域医療連携室が4月からリニューアルされて、地域の様々な施設の皆さんとの連携を推進しておりますが、その一環として、愛知県精神障がい者福祉協議会の若手研修会を当院で開催させていただきました。1回目は7月に病院見学＋講義「精神障がいの基礎知識」＋グループ討議、2回目は11月に「コミュニケーションスキルを援助に活かす」というテーマで、講義＋ロールプレイ演習＋グループ討議を行いました。愛知県内の「就労支援」「相談支援」「生活支援」を行っておられる事業所からたくさんの方に集まっていただき、和気藹々とした雰囲気の中、皆さん真剣に学び、楽しく交流し、横のつながりも作ってもらえたと思います。

研修の最後に、「ソクラテス式質問法はどんな時に使えるのでしょうか？」との質問があり、資料に戻って補足説明をしていたところ、司会者が突然「あ、う調子悪いんですけど…」と言い始め、即興のロールプレイをするハプニングもありました。いやあ、百聞は一見に如かずと言いますし、ロールプレイはよい学習方法だと思いますが、せめて予告を…。講師は、寿命が縮まったかもしれません。でも、当院の理念は「誠実で開かれた医療を行い、地域に貢献します」です。地域の方々のお役に立てれば幸いに思います。今後も、このような交流ができればいいなあと思う2日間でした。

春のインターンシップを開催します！

開催日は、**①3月7日(木)、②3月12日(火)の2日間**です。病院を知るには、病棟体験で先輩の話を聞くのが一番！詳しくは、HPに掲載のポスターをご覧ください。ご都合がつかない場合は、個別の見学会にも対応しております。ぜひ、たくさんの方にご参加いただければと思います。ご希望の方は、どうぞ看護部長の [林\(m-hayashi@8seikai.jp\)](mailto:m-hayashi@8seikai.jp) または [052-791-2133](tel:052-791-2133) までご連絡ください。

秋の院内研修

短い秋が終わり、季節は冬を迎えようとしています。脱コロナ禍で対面式の研修会も平常時にもどりつつあり、多くの研修が行われました。その中から今回は、11月と12月に行われた研修をご紹介します。

【作業療法とDC見学】 11月

11月9日に『作業療法について・デイケア見学』の院内研修を行いました。全14名の多職種の方々に参加していただきました。OT課・デイナイトケア課合同での研修で、前半はリハビリテーションの視点をもとに作業療法の目的、評価・介入やOT課の取り組みについてOT課課長から講義がありました。「OTの役割や視点が理解できた」「OTの仕事内容について漠然と見ていたが具体的にどんなことをしているのか聞くことができた」などの感想をいただきました。後半はデイナイトケア課課長からデイケアの概要と第一リハビリセンター内の紹介がありました。第一リハビリセンターに初めて来た方や久しぶりに来た方もいらっしや、みなさんで話をしながら和やかな雰囲気で見学ができました。

参加者の皆様からは「第二リハビリセンターの見学もしたい」「プログラム内容の詳細を知りたい」など様々なご意見もいただきましたので来年度の研修の参考にさせていただきたいと思っております。

【院内研究発表会】 12月

12月23日(土)13:00~15:00「院内研究発表会が開催されました。昨年度までは、規模を縮小し開催していましたが、4年ぶりに以前のスタイルにもどり行われました。みんなで行う研究発表はやっばりいいなと改めて実感しました。

演題 岡田「認知症患者の介護抵抗が及ぼす看護職員への影響」

山森「精神科急性期治療病棟の看護に対する患者満足度」

加納「終末期看護や看取りカンファレンス導入による看護師の意識変化」



幅広いフィールドで活躍を！

皆様、はじめまして！

病棟師長として業務・看護管理に携わり、認定看護師としても様々な医療スタッフと協働・連携しながら、横断的な活動を行っています。また、質の高い看護ケアを効率よく提供するために、基準となるマニュアルの作成・追加・修正などの整備にも取り組んでいます。労力がかかる作業ですが、「看護の基本」となる重要な役割なので、やりがいを感じながら行っています。

今年度は、病床再編があり、病棟の役割が大きく変わりました。(回復期リハビリ病棟からリカバリー支援病棟へ変更)それに伴い、ベッドコントロールや業務改善などに追われましたが、着実に成果を出し、患者様のニーズに合わせた病棟運営が実施できていると感じています。

当院は、「教育」に力を入れています。私も様々な研修会に参加し、知識・技術を習得してきました。現在は、その知識と経験を活かし、行動制限・CVPPPの研修サポートなど幅広いフィールドで活動させて頂いています。

今後も精神科看護の楽しさをアピールしながら、患者様の権利の遵守し、看護の質向上に努めて行きたいと考えています。

B1病棟師長 小川 強 (精神科医学会認定看護師)